

日本ヘルスケア学会

活動の紹介と入会のご案内

日本ヘルスケア学会は、わが国の国民と産業における健全なヘルスケア育成、推進、定着を図ることを目的に、科学界と産業界が連携して調査、研究、提言等を行うわが国唯一の学会です。

当学会はヘルスケア育成、推進のため次の活動を行います。

1. 超高齢社会に求められる新しい社会保障制度や医療制度の在り方、さらにヘルスケアを提供する各提供施設や専門家等について研究し、地域生活者に健康で安心安全な暮らしを実現する研究活動を行います
2. わが国のあるべき制度や現行制度等について、国民と産業による健全なヘルスケア育成と推進のための研究を行い、その成果を発表します
3. ヘルスケア産業の社会的価値向上や育成環境づくりの研究、さらに個別業界や企業ごとでは対応しにくい問題や課題について解決のロジックや仕組みの研究を行い、新しいヘルスケア事業の国民的な普及と推進を図ります
4. 科学界と産業界が連携して、中立的かつ現実的な論理と技術の研究を行い、客観的立場で社会に問題提起、提言します
5. 日本ヘルスケア協会は、この学会の問題提起や提言を受けて、その解決や実現のための様々な活動を行ってまいります

■ ごあいさつ

平成25年6月に閣議決定された『日本再興戦略』に、「国民の『健康寿命』延伸」が明記され、これを支える「ヘルスケアの産業化」が国家的な課題として取り上げられるようになりました。しかし、この「ヘルスケアの産業化」は、古いロジックや制度を維持しようとする方々により、遅々として進まないのが現状です。

本学会は平成27年11月18日、日本ヘルスケア協会に位置する組織として設立され、「ヘルスケアの産業化」をいかに健全に育成、推進、定着させるかを目的に活動してまいりました。

21世紀の超高齢社会に安定的に対応できる社会をつくる、そのために国民的な幅広い視点で、健全なヘルスケアの産業化を図っていく必要があると考えています。

本学会の特徴は広く産業界に門戸を広げ、科学と産業を一体的に連携させた次世代の求めるヘルスケア環境整備のための研究を行うわが国唯一の機関です。

ヘルスケアに関心のある大学関係者、産業界、有識者、個人・学生など、多くの方々にご参加頂きますようお願い申し上げます。

日本ヘルスケア学会



会長

上原 征彦

ヘルスケア産業部会
部会長
(昭和女子大学現代ビジネス研究所 特命教授)



会長

今西 信幸

ヘルスケア科学部会
部会長
(一財)東京薬科大学付属
ヘルスケア研究所 理事長)

(2人会長制)

■ 日本ヘルスケア学会が定めるヘルスケアの定義 (簡略版)

日本ヘルスケア学会では、ヘルスケアを次の通り定義 (簡略版) しました。

ヘルスケアとは、自らの「生きる力」を引き上げ、病気や心身の不調からの「自由」を実現するために、各産業が横断的にその実現に向け支援し、新しい価値を創造すること、またはそのための諸活動をいう。

※正式なヘルスケアの定義、その意図と文脈については日本ヘルスケア協会のホームページをご参照下さい。

■ 日本ヘルスケア学会の目的

超高齢社会のわが国において、科学分野と産業分野からのヘルスケア推進に関する研究を通じて、次のヘルスケア推進の環境整備を実現します。

- 国民の健康に寄与するあらゆる分野において、生活者主体のヘルスケアを推進する環境を実現します
- わが国の新しい社会保障制度、医療制度の在り方を提言し、ヘルスケアをサポートする機関や施設、専門家が活躍できる環境を整備します
- ヘルスケア産業の優れたシステム、商品、サービス等が実践、普

及しやすい環境を整備します

- 生活者が参画しやすいヘルスケアシステムを構築し、ヘルスケア推進が国民参加型で実践できる環境を整備します
- これらの研究活動が、国民や産業界にとって、現状のみならず将来的に価値のある活動にしていまいます
- 科学分野と産業分野からのヘルスケア推進に関する研究を通じて、わが国のヘルスケア分野の学問の確立と優秀な研究者の育成を図ります

■ 日本ヘルスケア学会の活動と組織の特徴

◇日本ヘルスケア学会の活動の特徴

現在、日本は超高齢社会に対応した新しい健康政策の構築が喫緊の課題になっています。しかし、既存の個々の学会、団体等では複雑な縦割り社会の枠内で、かつ利害関係のなかで、直接的に国政や行政、国民、マスコミ等に、新たな健康政策に向けた問題提起、提言がしにくい状況にあります。

本学会は、科学界と産業界が一体的に融合・連携することにより、何の利害関係もなく、また「ヘルスケア」の名を冠することにより、幅広い健康分野にわたって、直接、国政や行政、国民、マスコミ等に、ヘルスケア産業全般の普及推進に向けた問題提起や提言ができる唯一の学会です。

◇日本ヘルスケア学会の組織の特徴

日本ヘルスケア学会は、一般財団法人日本ヘルスケア協会の付属組織として設置されています。先進諸国ではヘルスケアが学問として定着し、医療制度や国民健康政策に大きな実績を上げていますが、わが国ではいよいよこれからとなります。この新しい学問分野は、基礎科学と異なり実践や現場を伴った研究が必要となります。力のある、また多くの実績を上げるために日本ヘルスケア協会の付属組織として設置しました。

しかし、日本ヘルスケア学会の研究活動は、客観的かつ中立的な研究活動を行うため、日本ヘルスケア協会をはじめ、他の組織から独立した独自の運営方法をとります。

■ 主な活動内容

◇日本ヘルスケア学会の全体的な活動

1. 学会（年次大会）の開催
2. 調査・研究事業
3. 学会誌の発行
4. 会員認証の発行
5. 表彰制度
6. その他

◇日本ヘルスケア学会の組織概要

日本ヘルスケア学会は科学部会と産業部会の2つの部会で構成されています。それぞれの部会は会員による委員会、研究会、タスクフォースチームにより研究活動が行われます（右図の組織概要をご参照下さい）。

1. 部会活動の参加

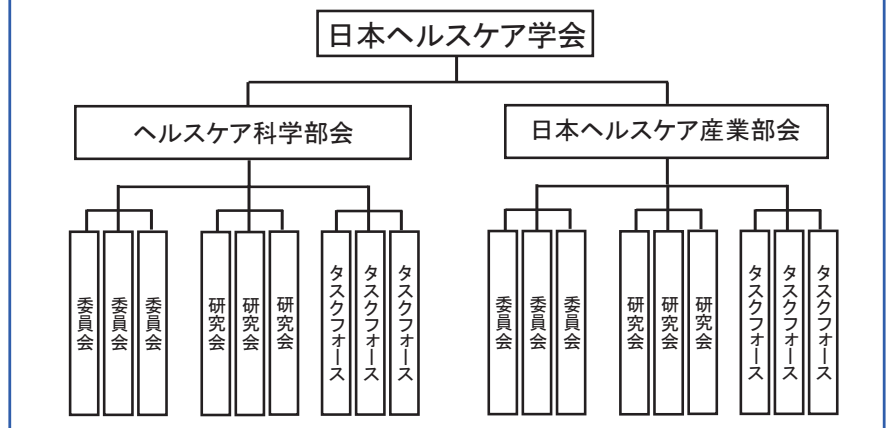
日本ヘルスケア協会の法人会員または日本ヘルスケア学会の法人・個人会員であれば、各部会長に申請し部会活動を行うことができます（複数の部会活動が可能）。

2. 各部会の下に委員会、研究会、タスクフォースチームを新設

同じテーマを持つ複数名以上が発起人となり、活動計画申請書を作成し、5会員以上の構成委員で、部会長の承認をもって、容易に委員会、研究会、タスクフォースチームを立ち上げることができます。

日本ヘルスケア学会 組織概要

※2016年度4月現在



3. 委員会、研究会、タスクフォースチームの活動

立ち上げた委員会、研究会、タスクフォースチームには、研究活動の会議等に必要な補助金が支払われます。ただし、原則的に旅費交通費は支払われません。

4. 部会、委員会、研究会、タスクフォースチーム研究のメリット

学術的評価を得る研究内容の発表を広く行うことができ、日本ヘルスケア協会および日本ヘルスケア学会の褒賞の対象になります。

■ 日本ヘルスケア学会の入会のご案内

日本ヘルスケア学会はヘルスケア科学部会とヘルスケア産業部会の2部会で組織されています。科学部会では、ヘルスケアに関する研究対象を科学的に究明する研究活動を推進していきます。産業部会では、健全なヘルスケア産業が発展するための研究を行っていきます。両部会の連携を密にして次世代の求めるヘルスケア環境整備のための研究を行います。

○ヘルスケア科学部会

ヘルスケア科学部会は、ヘルスケアに関心のある大学教員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、登録販売者などの多くのヘルスケアに関係している方々に参加を頂きます様をお願い申し上げます。

1. 目的

主たる領域を予防、介護、自己治療、自己健康管理の分野とし、関係する多様な専門家、各提供施設、さらに大学等の教育機関などが相互に連携し、国民の安心・安全をより高めるための研究を行います。

2. 組織

会 長 今西信幸（東京薬科大学理事長）
副会長 上原征彦（昭和女子大学現代ビジネス研究所特任教授）
理 事 太田 伸（東京薬科大学副学長）
理 事 後藤直正（京都薬科大学学長）
理 事 白石 正（山形大学医学部附属病院教授・薬剤部長）
理 事 本間真人（筑波大学附属病院教授・薬剤部長）

3. 主な研究対象

研究対象は、本部会の目的を達成するための研究と新しいシステムや連携および業務に関することを主とします。

- ①健康維持、予防に関する研究
- ②未病改善、QOL改善に関する研究
- ③自己管理、自己治療に関する研究
- ④在宅介護、地域包括ケアシステムに関する研究
- ⑤職能研究
- ⑥その他－各業界からの課題（テーマ）の研究

○ヘルスケア産業部会

ヘルスケア産業部会は、ヘルスケアに関心のある大学教員、研究所、製造、流通をはじめとする産業界、関係業界、学生、一般の方々など、ヘルスケアに関わる幅広い方々に参加を頂きます様をお願い申し上げます。

1. 目的

ヘルスケアに関わる多様な産業の育成、振興のために、関係する多様な専門家、各施設、大学等の教育機関連携などが相互に連携し、国民の安心・安全をより高めるための研究を行う。

2. 組織

会 長 上原征彦（昭和女子大学現代ビジネス研究所特任教授）
副会長 今西信幸（東京薬科大学理事長）
理 事 加藤弘貴（公財・流通経済研究所専務理事）
理 事 木村 哲（明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科教授）
理 事 三村優美子（青山学院大学経済学部部長）
理 事 薬袋貴久（昭和女子大学グローバルビジネス学部准教授）

3. 主な研究対象

研究対象は、本部会の目的を達成するための研究と新しいシステムや連携および業務に関することを主とします。

- ①ヘルスケアに関する政策および制度の研究
- ②ヘルスケアに関する各産業、業態別の研究
- ③ヘルスケアに関するテーマ別、課題別研究
- ④ヘルスケアシステムに関する研究
- ⑤新医療制度とコストの研究
- ⑥その他－各業界からの課題（テーマ）の研究

■ 入会のご案内

国民や地域のヘルスケアの推進および健康寿命延伸に寄与する本学会の趣旨に賛同され、わが国の健全なヘルスケア産業の育成と、大学等の教育機関との連携等を通して、来るべき日本の超高齢社会に対応する新しい日本社会を構築していくことに関心のある団体、法人、個人、学生の方々のご入会をお待ちしております。

■ 会員区分

- ①法人会員：本学会の目的に賛同し、入会した法人（企業）。本学会会員に限定。（日本ヘルスケア協会の法人会員は無料で会員登録されます）
- ②個人会員：本学会の目的に賛同し、入会した個人（教育・研究に関わる者、有識者、職能者、企業関係者、一般等）
- ③学生会員：大学院・大学及び短期大学またはこれに準ずる学校に在籍している個人
- ④特別会員：本会の目的に賛同し、特別に入会を招聘された法人、個人
- ⑤登録協力団体会員：本会の目的に賛同し、登録した協力団体

■ 年会費（入会金はありません）

会員区分	年会費
①法人会員	70,000 円／年（当面、日本ヘルスケア協会会員は免除）
②個人会員	1 万円／年
③学生会員	3,000 円／年（大学院生含む）
④特別会員	会費なし
⑤登録協力団体会員	会費なし

※会計年度は4月1日より翌年3月31日までですが、当面の間、会費を納入した翌月から12カ月分（1年間）を年会費とします。

※日本ヘルスケア協会の法人会員は無料登録できます。

※個人会員、学生会員、特別会員、登録協力団体会員は、日本ヘルスケア学会の各部会への参加を希望される場合、部会長の特別推薦、または招聘が必要などの制限がありますのでご了承下さい。

※登録協力団体会員からの活動費用賛助、活動協力はお受けいたします。ご協力下さい。

■ 会員特典

○ 法人会員の特典

日本ヘルスケア協会の法人会員は、日本ヘルスケア産業協議会および日本ヘルスケア学会の複数の部会に参加することができます。

- ・各業界のヘルスケア事業及び製品の普及推進のための研究や検討を、業界や企業の枠を超えて行うことができます。
- ・研究や検討の内容を実現するための、制度改正や規制緩和、異業種連携、生活者啓発普及等、実践環境の整備や支援が得られます。
- ・ヘルスケア推進に優れた業界活動や企業の商品、サービス、事業活動を広く社会に知らしめ、社会に優しい業界または企業としてイメージを高めます。
- ・ヘルスケアに求められる最新の情報や人材との出会いが得られ、各業界や企業の政策、戦略に役立てることができます。

○ 個人会員の特典

- ・通常ではなかなか出会えない、ヘルスケア分野で活躍する多くの研究者や産業分野の研究者、有識者、実務者との出会いや交流の機会が得られます。
- ・日本ヘルスケア学会での発表や学会誌を通して、幅広いヘルスケア分野の最新情報を入手することができ、日頃の活動における大きなヒントが得られます。
- ・日本で最も求められる新しいヘルスケア分野の学問の研究および体系づくりに貢献した研究者または専門家として、社会に位置づけられます。

- ・日本ヘルスケア学会での優秀な研究発表者には褒賞の機会が得られ、必要と認められた研究内容については、日本ヘルスケア協会の事業活動として推進や実現に向けた活動が行われます

○ 学生会員の特典

- ・今後、日本産業の最も有望な市場がヘルスケア分野だといわれています。その需要は将来、国内だけに留まらず、世界の超高齢社会であるだけに、日本のヘルスケア産業はアジアを中心に世界市場にも大きな可能性を拓くことができると期待されています。
- ・その最前線についての情報を学生時代から収集し、さらに医療、健康、生活全般にわたる幅広いヘルスケア分野の各専門家との交流を通して、将来の進むべき分野、研究分野を見出すために大いに役立てることができます。

○ 各会員区分共通の会員特典

次の会員特典は、会員の種類に関係なく、すべての会員が得られる特典です

- ①日本ヘルスケア学会のセミナー等に参加できる。
- ②会員限定のホームページにアクセスできる。
- ③出版書籍、システム等を会員価格で購入できる。
- ④ヘルスケアに関する最新情報を入手できる。
- ⑤法的アドバイスを受けることができる（内容により有料）
- ⑥専門家やヘルスケアに役立つイベントの紹介
- ⑦その他（会員からの相談応需など）

■ 入会申し込み手順

- 1) 同封の「入会申込書」（申込書はホームページからもダウンロード可能）に必要な事項を記入して、団体、法人内容のわかるもの（ご案内やパンフレットなど）を添えて、協会事務局まで郵送する。FAXまたはメールでも申込みが可能。
- 2) 会費を指定口座に振り込む。なお、請求書が必要な場合は、「入会申込書」送付時にその旨を記入する。
- 3) お振込み確認後、受領書並びに協会ホームページのID、パスワードなどを送信する。

■ お振込み先

- 振込み口座
みずほ銀行新横浜支店普通：1701007
 - 振込み口座名
日本ヘルスケア学会
- ※恐れ入りますが、振込み手数料はご負担願います。

一般財団法人 日本ヘルスケア協会 附属 日本ヘルスケア学会

(2015年11月設立)

(本部) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目15-10 名和ビル3階
TEL03-5510-7274 FAX03-3504-8103 <http://www.jahi.jp> E-Mail: info@jahi.jp
(横浜事務所) 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階 (NRKグループ内)
TEL045-474-2521 FAX045-474-2520